

特集

子どもたちの安全を守る。

子どもを狙った凶悪事件が、全国各地で相次いで発生しています。

また、犯罪までには至らないものの、不審者による子どもへの声かけなどの不審行為は年々増加の一途をたどっています。

こうした事例は、都市であろうと地方であろうと起こりうることであり、美郷町も例外ではありません。

子どもを狙った犯罪を未然に防止し、美郷の将来を担う子どもたちの安全を守るには、警察・行政・学校・地域が一体となって協力連携していくことが、いま求められています。

今回は、本町における子どもたちの安全を守る取り組みについて特集します。

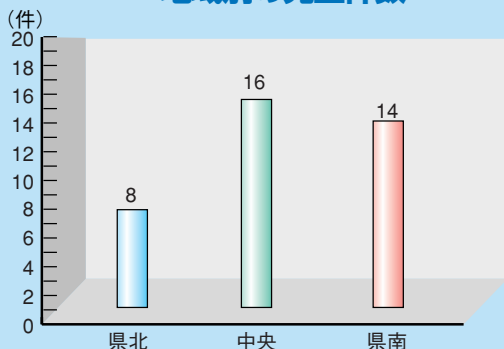


子どもに対する声かけなどの県内での発生件数と特徴

(平成17年・秋田県警察本部調べ)

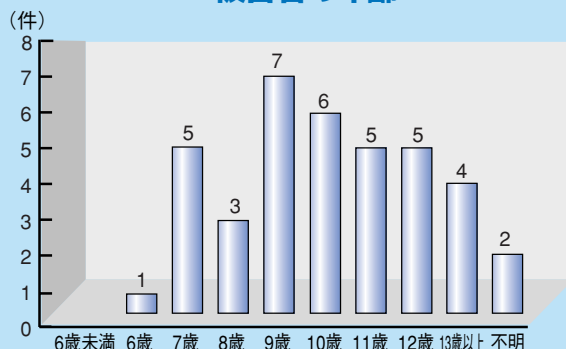
平成17年中に秋田県警察本部に寄せられた「子どもに対する声かけなどの不審者に関する情報」は38件で、次のような特徴があります。

地域別の発生件数



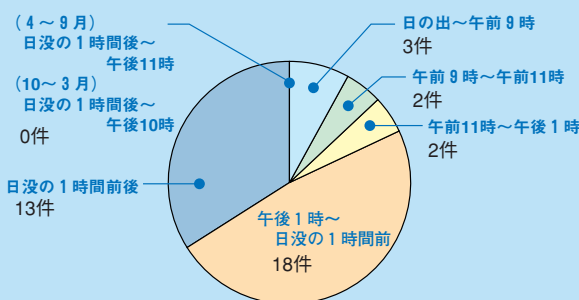
中央地区(南秋田郡、潟上市、男鹿市、秋田市、由利本荘市、にかほ市)が16件で最も多く、県南地区(大仙市、仙北郡、仙北市、横手市、湯沢市、雄勝郡)は14件と2番目に多い。

被害者の年齢



9歳が7件で最も多い

被害にあった時間帯



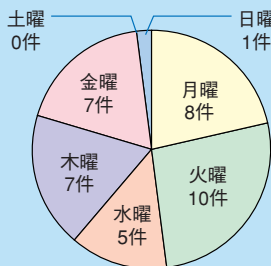
午後から宵(日没の1時間前後)にかけての発生が多い

月別の発生件数



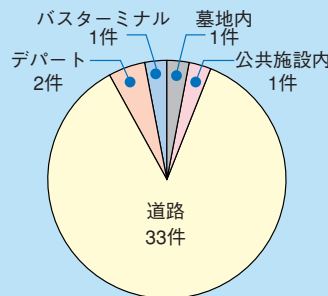
1月、12月の発生が多い

曜日別の発生件数



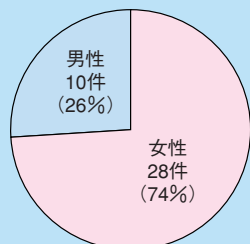
月曜日、火曜日が多い

場所別の発生件数



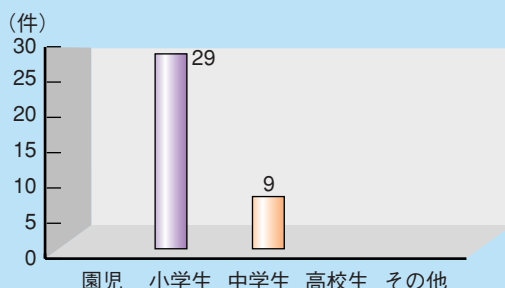
道路における発生が多い

被害者の性別



全体の約74%が女性

学校等別の発生件数



被害者が小学生である場合が29件で最も多い